

反動の嵐に抗して！	2012年	JR 東海労働組合
	5月10日	大台両所分会
	No16	発行者 西村泰弘
		編集 教宣部

これが個人面談の実態だ！！

社員に暴言を吐く、K助役！！

「B担務が出来ないのは、足りないからです」

「何が足りないかは自分で考えて下さい」

先月行われた職場の個人面談で、A社員が「**車両技術係**なって何十年にもなるが、いまだに**B担務の仕事**をやらせてもらっていない、**B担務の仕事**がやりたい。**なぜ出来ないのか？**」と聞くと、K助役はなんと「**足りないからです**」と答えました。

A社員が「**何が足りないのですか？**」とたずねるとK助役は「**それは自分で考えて下さい**」と答えました。

「**足りない**」というのであれば、努力すべきところをはっきりとアドバイスするのが助役の仕事ではないでしょうか？

そもそも、社員の真摯な質問に対して、「**足りない**」の一言で答えるK助役は社員をバカにしています。

そして、管理者としての仕事を放棄していると言えるのではないのでしょうか？！

さらに、K助役はA社員と同じように車両技術係になって何十年にもなるB社員に対して、「**C担務のエキスパート**になって下さい」とも言っています。

入社して一年や二年しか経っていない若い社員がB担務の仕事をさせられています。

なかには、「**安月給なのに責任ばかりが重くなる**」と嘆いている若い社員もいます。

おかしい事はおかしいと言える職場を作るために、

ともに声をあげて行きましょう！！